

資料番号	4
------	---

令和6年7月19日
課名 商工労働局 商工労働総務課
担当者 課長 藤原
内線 3310

令和6年度中小企業振興功労者表彰（知事表彰）について

1 概要

中小企業基本法公布の日（昭和38年7月20日）を記念して、県内の中小企業者及びその関係者で、多年にわたり事業に精励し、経営の改善・技術の向上等に積極的に取り組み、その業績が顕著であり、他の模範となるべき者を知事が表彰する。（昭和53年度から実施）

2 被表彰者

氏名	現住所	主な職歴	推薦団体
おだ かずみ 小田 一美 83歳 (昭和16年1月20日生)	福山市	株式会社アサヒプランニング 取締役会長 協同組合環境改善推進センター 理事長 広島県中小企業団体中央会 理事	広島県中小企業団体中央会
たけなか こういちろう 竹中 敏一郎 76歳 (昭和23年10月25日生)	安芸郡府中町	(有)竹中電機 代表取締役 広島県商工会連合会 理事 府中町商工会 会長	広島県商工会連合会
こうの たかのぶ 河野 高信 72歳 (昭和27年5月14日生)	広島市東区	己斐商事株式会社 代表取締役 広島商工会議所 常議員	広島商工会議所

3 表彰式

- 日時 令和6年7月19日（金） 13時40分から
- 場所 県庁北館2階 第一応接室

令和6年度 中小企業振興功労者表彰（知事表彰）被表彰者略歴（3名）

[年齢順] (R6. 7. 19 時点)

氏名	おだ かずみ 小田 一美 83歳 (昭和16年1月20日生)	推薦団体	広島県中小企業団体中央会推薦
		現住所	福山市
主な職歴	株式会社アサヒプランニング 取締役会長 協同組合環境改善推進センター 理事長 広島県中小企業団体中央会 理事	表彰歴	平成26年 6月 9日 広島県中小企業団体中央会会長表彰 平成27年 11月 20日 全国中小企業団体中央会会長表彰 令和 元年 11月 26日 中小企業庁 長官表彰
主な功績	<p>■ 協同組合環境改善推進センターに関する功績</p> <p>平成15年12月、環境負荷の少ない省エネ商材の活用によって地域中小企業が『自律型経営へと事業転換すること』を目的に、自らが発起人代表となり協同組合を設立、初代理事長に就任し現在に至る。平成18年度には中小企業活路開拓調査・実現化事業（全国中央会）を活用し、理事長が中心となり新たな施工技術の市場調査と新分野進出に向けたビジョン作成を実施、平成19年には、環境省より組合で取り扱う商品の実証登録（遮熱対策）、平成20年度には組合ホームページを新たに構築し、共同事業の活性化に努めた。この様な取り組みにより、組合の趣旨に賛同する施工協力店が増加し、組合員の経営・施工件数の向上に大きく貢献した。</p> <p>平成24年度並びに平成25年度の2年間は、組合員の新事業展開の促進と施工技術の高度化を目的に「新分野進出に向けた新たな施工技術の市場調査及びその施工方法の確立」をテーマとして再び活路開拓事業に着手、新分野進出に向け、施工用具・洗浄剤の選定、前処理を含めたフロー工法による施工手順など、新たな施工技術の確立と展示会への出展により組合及び組合員の事業環境整備に努めた。</p> <p>以後、定期的な技術研修会を実施するとともに、標準作業マニュアルの策定、検査基準を設けるなど、より確かな施工ができる体制の構築に尽力している。また、組合員の営業展開を側面的にサポートするため、組合の本部がある福山市において先行的にモデルケースとなる施工実績を重ね、これらの成果を組合員にフィードバックすることでノウハウの共有を図るなど、組合員からの信頼も厚く、組合及び業界の発展に尽くした功績は多大である。</p> <p>■ 広島県中小企業団体中央会に関する功績</p> <p>平成20年6月広島県中小企業団体中央会（以下「本会」と言う。）理事に就任、持ち前の積極性と行動力で会長、副会長を補佐して諸施策の普及を積極的に行った。</p> <p>平成22年度本会より提案した組合大連合の推進については、組合組織の立場から積極的に助言、既存組合の活性化に新たな方向性を見いだした功績は大である。</p> <p>また理事就任から今日まで、本会の活動充実や価値向上に率先して取り組み、本会の3カ年計画である「広島県中央会ビジョン」策定においては、高い見識とリーダーシップを遺憾なく発揮し、中小企業組合と組合員企業への支援充実に真に必要な方策について、先見性と示唆に富んだ提言や助言を行い、アクションプラン策定に大きく貢献するとともに、自らその推進も奔走するなど、ビジョン実現の牽引役として大きな役割を果たしている。</p> <p>この他、理事会や総合委員会等関係する会議等においても、積極的に提言や助言を行い、中小企業振興を通じた地域の発展や組織化推進に努めるなど、広島県内の中小企業の発展に大いに尽力した。</p> <p>これら、本会と組合に対する長年の功績が認められ、平成26年6月広島県中小企業団体中央会会長表彰、平成27年11月には全国中小企業団体中央会表彰、令和元年11月には中小企業庁長官表彰を受賞するなど、優れた見識により中央会の運営に貢献している。</p>		

氏名	たけなか こういちろう 竹中 鉦一郎 76歳 (昭和23年10月25日生)	推薦団体	広島県商工会連合会
		現住所	安芸郡府中町
主な職歴	(有)竹中電機 代表取締役 広島県商工会連合会 理事 府中町商工会 会長	表彰歴	平成28年5月、令和2年10月広島県商工会連合会会長表彰 令和元年11月全国商工会連合会会長表彰 令和元年11月社会福祉法人府中町社会福祉協議会会長表彰
主な功績	<p>■ 商工会の運営に関する功績</p> <p>氏は、平成22年の府中町商工会理事への就任以来、今日の府中町商工会会長に至る14年間において、商工会運営・発展、地域のコミュニティの持続・活性化に熱意をもって尽力してきた。当町は広島市のベッドタウンとして急速に発展したことに伴い、町内には大型商業施設が相次いで進出し、既存の小売業者にとっては大きな脅威となっていた。特に、平成16年に200店舗以上がテナントする大型商業施設の開業は、当町にとって大きな転換期となった。そのため、氏は、会長就任後これらの環境変化に応じた地域事業者の専門店化への進化の必要性を描き、会員中小零細事業者の事業展開の指導及び、住民との親密感ある地域社会での相互関係の構築に努めた。</p> <p>平時より、商工会の加入メリットをいかに判り易く広く周知するかについて腐心しており、「新型コロナウイルス感染症」の影響により事業者の営業活動に大きな打撃が生じた際には、商工会長として自らが先頭に立ち、支援施策の活用並びに商工会の活用を広く訴えた。その結果、これまで商工会を活用していなかった事業者が商工会を訪れ、経営相談などを通じて商工会加入のメリットを見出したことにより、減少傾向にあった商工会員数が令和3年度には対前年比で約113%増と大幅増加することとなった。</p> <p>■ 広島県商工会連合会の運営に関する功績</p> <p>氏は、平成27年5月から広島県商工会連合会の共済委員会の委員を務め、県内事業主の福利厚生の実施及び商工会及び県連の財政基盤の安定化に尽力した。</p> <p>更には、平成30年5月、芸南東ブロックの商工会から絶大な信頼を受けて、県連合会の理事に就任するや、総務委員会委員及び、共済委員会の副委員長として、連合会・県内商工会の運営に関する施策を中心となって積極的に企画・実行してきた。具体的には、転換期において商工会組織が重点化を図るべき事業領域を明らかにするため、今後5年間で特に取り組むべき項目を定めた「広島県商工会連合会プラン2020」の策定を実現させ、これまでにない商工会連合会の事業運営・管理体制を構築し、組織基盤の強化を進めた。</p> <p>また、このような傍ら、府中町公共交通協議会委員、府中町まちづくり推進懇話会委員、府中町環境審議会委員、広島県立安芸府中高等学校学校運営協議会委員を務め、地域商工業者と住民、行政、教育機関が一体となった地域振興を進めた。</p> <p>■ 事業経営に関する功績</p> <p>氏は、世羅高等学校を卒業後、昭和42年に岸本乳業㈱へ入社、その後、昭和46年にシャープ㈱に転職。開発課へ所属し、広島市内を中心に同社製品を取り扱う電気店の新規開拓・出店支援に従事。持ち前のバイタリティーと社交性をもって、着実に営業成績をあげていった。</p> <p>昭和51年には、これまでの店舗開発や商品ノウハウを活かし、自らが広島市西区で事業を起し、家庭用電化製品の販売を開始。</p> <p>その後、平成3年には家電販売店の大型化とオーバーストアの進展を早期から予見し、これまでの在庫型の店頭販売スタイルから脱却し、無店舗による受注販売スタイルに活路を見出し、妻の実家である府中町に事務所を移転し法人化した。</p> <p>以降、小規模店舗による家電販売に限界を見出した氏は、社名を現在の(有)竹中電機に変更するとともに、空気調整設備機器や電気・通信設備・配管工事業への業態転換に取り組み、卓越した経営手腕から、平成18年には新社屋の購入など順調に事業を拡大してきた。</p> <p>氏は、日頃より顧客満足度の向上を第一義に掲げ、「100%の仕事に加え、更に10%の付加価値をお客様が感じられる仕事ぶり」を心掛けるよう社員にも徹底している。また、社員教育にも注力し、一級技能検定の取得などを促進している。</p> <p>その結果、同業他社からも氏の事業経営姿勢は高く評価されており、平成13年に山口県で開催された「山口きらら博」の配電工事や、「広島フラワーフェスティバル」の給排水工事を手掛けるなどの大型案件の受注にも繋がっている。</p>		

氏名	この たかのぶ 河野 高信 72歳 (昭和27年5月14日生)	推薦団体	広島商工会議所
		現住所	広島市東区
主な職歴	己斐商事株式会社 代表取締役 広島商工会議所 常議員	表彰歴	平成29年度 広島国税局長納税表彰
主な功績	<p>■ 己斐商事株式会社における功績</p> <p>己斐商事株式会社は、昭和30年5月に現本社ビル所在地にて河野信夫（現代表 河野高信氏の実父）が不動産業を行う目的で個人商店として創業。昭和42年に有限会社として法人化、昭和61年2月には株式会社に改組し、河野高信が専務取締役に就任。平成5年6月には同氏が代表取締役に就任し今日に至っている。</p> <p>同社は創業来「不動産のお世話を通じた地域貢献」を社是として、広島市内西部を地盤に「地域密着」のスタンスと「不動産の生み出す価値を最大限に高める活用方法を重視する」経営方針等により不動産の斡旋・仲介等を手掛け、近年は周辺地域にも事業エリアを広げつつ着実に事業規模も拡大している。</p> <p>また、当社は斡旋・仲介のみでなく、土地・建物オーナー向け家賃集金や建物清掃、地域や物件に適した借主の募集を代行する管理事業にも注力するなど、お客様のニーズに沿ったきめ細かい事業展開を推進し、他社との差別化、収益の向上を図っている。</p> <p>■ 広島商工会議所における功績</p> <p>河野氏は平成19年11月より広島商工会議所役員（副会頭、常議員）、議員として本所の事業運営に参画し、当地域の中小企業の活力強化や観光振興、地域経済の活性化等に大きく貢献している。</p> <p>平成19年～22年の副会頭在任中は「観光・サービス業部会」、「運輸部会」の管掌副会頭として、観光振興事業や中心市街地などの賑わい創出、運輸業振興、交通体系の整備促進、海生都市圏の推進等に精力的に取り組まれ、平成22年の退任後も常議員・議員として、常任委員会である「観光・文化委員会」の副委員長や「地域連携委員会」、専門委員会である「グローバルMICE検討特別委員会」の委員として、引き続き当地域の観光振興、地域振興になどの面において、会議所活動の活動方針策定・実施等、重要な役割を担っている。</p> <p>■ 各種団体の役員等としての功績</p> <p>河野氏は、己斐商事株式会社 代表取締役として、自社経営の舵取りを長年行ってきたほか、「公益社団法人広島西法人会」（約5,000社が加入）の副会長（広報担当）を長年務め（現職）、公平で健全な税制実現等に向け、税の普及・啓蒙活動に尽力。平成29年には 広島国税局長より表彰を受けるなど、社会貢献活動にも幅広く取り組んでいる。</p> <p>また、広島県が中心となって構成する「21ひろしま県内製品愛用運動推進協議会」の支援を得て自動車産業等の県産品の拡販支援を行うことにより、地域興しを図っていくことを推進する「広島郷心会」（約860社で構成）の役員（副会長、参与）を長年務めるなど、経済の活性化への貢献にも熱心に取り組んでいる。</p>		